

2 人口の動向

(1) 本県の人口の推移

昭和30年に204万人を超えた本県人口は、高度成長期を通じて減少を続け、昭和47年には、170万人まで落ち込んだ。その後増加に転じ、昭和60年には182万人まで回復したが、翌年には再びマイナスに転じ、その後は減少傾向が続いている。

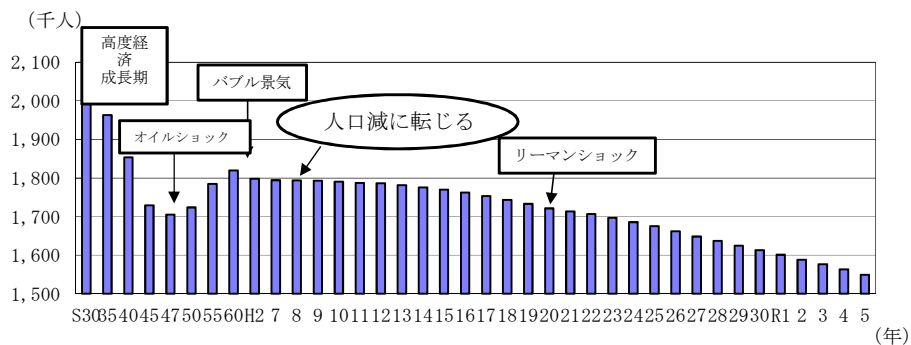
人口減少の要因は、少子高齢化の進展による自然減の進行、若年層の就職・進学による県外への転出がその主なものとなっている。

(単位：人、%)

区分 年	総人口	自然動態			社会動態 ほか	純増減	対前年 伸び率	指数 昭30年=100
		出生	死亡	増減				
昭 30	2,044,112	49,861	16,892	32,969	△ 11,487	21,482	1.10	100.0
35	1,963,104	36,607	15,984	20,623	△ 44,682	△ 24,059	△ 1.20	96.0
40	1,853,541	28,022	15,727	12,295	△ 34,939	△ 22,644	△ 1.20	90.7
45	1,729,150	24,180	16,060	8,120	△ 41,263	△ 33,143	△ 1.88	84.6
47	1,705,008	24,229	14,819	9,410	△ 14,074	△ 4,664	△ 0.27	83.4
50	1,723,902	24,390	15,153	9,237	460	9,697	0.57	84.3
55	1,784,623	24,852	15,537	9,315	1,918	11,233	0.63	87.3
60	1,819,270	23,393	14,996	8,397	△ 2,282	6,115	0.34	89.0
平 2	1,797,824	19,189	15,834	3,355	△ 11,415	△ 8,060	△ 0.45	88.0
7	1,794,224	17,246	17,238	8	2,775	2,783	0.16	87.8
8	1,793,705	16,591	16,565	26	△ 545	△ 519	△ 0.03	87.7
9	1,793,010	16,710	16,468	242	△ 937	△ 695	△ 0.04	87.7
10	1,790,360	16,402	16,639	△ 237	△ 2,413	△ 2,650	△ 0.15	87.6
11	1,787,421	15,782	17,963	△ 2,181	△ 758	△ 2,939	△ 0.16	87.4
12	1,786,194	16,073	17,087	△ 1,014	△ 213	△ 1,227	△ 0.07	87.4
13	1,781,393	15,930	17,245	△ 1,315	△ 3,486	△ 4,801	△ 0.27	87.1
14	1,775,833	16,045	17,360	△ 1,315	△ 4,245	△ 5,560	△ 0.31	86.9
15	1,769,652	15,550	18,071	△ 2,521	△ 3,660	△ 6,181	△ 0.35	86.6
16	1,762,461	15,136	18,006	△ 2,870	△ 4,321	△ 7,191	△ 0.41	86.2
17	1,753,179	15,049	18,791	△ 3,742	△ 5,540	△ 9,282	△ 0.53	85.8
18	1,743,484	14,971	18,886	△ 3,915	△ 5,780	△ 9,695	△ 0.55	85.3
19	1,732,568	15,089	19,265	△ 4,176	△ 6,740	△ 10,916	△ 0.63	84.8
20	1,721,227	15,400	19,845	△ 4,445	△ 6,896	△ 11,341	△ 0.65	84.2
21	1,712,950	15,099	19,710	△ 4,611	△ 3,666	△ 8,277	△ 0.48	83.8
22	1,706,242	15,218	19,789	△ 4,571	△ 2,137	△ 6,708	△ 0.39	83.5
23	1,696,815	15,285	21,256	△ 5,971	△ 3,456	△ 9,427	△ 0.55	83.0
24	1,685,820	14,954	20,911	△ 5,957	△ 5,038	△ 10,995	△ 0.65	82.5
25	1,674,781	14,837	21,185	△ 6,348	△ 4,691	△ 11,039	△ 0.65	81.9
26	1,661,725	14,219	21,560	△ 7,341	△ 5,715	△ 13,056	△ 0.78	81.3
27	1,648,177	14,312	21,640	△ 7,328	△ 6,220	△ 13,548	△ 0.82	80.6
28	1,637,040	13,847	21,322	△ 7,475	△ 3,662	△ 11,137	△ 0.68	80.1
29	1,624,970	13,336	21,661	△ 8,325	△ 3,745	△ 12,070	△ 0.74	79.5
30	1,613,273	13,091	21,968	△ 8,877	△ 2,820	△ 11,697	△ 0.72	78.9
令 1	1,600,783	12,295	21,639	△ 9,344	△ 3,146	△ 12,490	△ 0.77	78.3
2	1,588,256	11,627	21,217	△ 9,590	△ 2,937	△ 12,527	△ 0.78	77.7
3	1,576,488	11,634	21,874	△ 10,240	△ 1,528	△ 11,768	△ 0.74	77.1
4	1,563,124	10,839	23,385	△ 12,546	△ 818	△ 13,364	△ 0.85	76.5
5	1,548,684	10,216	23,964	△ 13,748	△ 692	△ 14,440	△ 0.92	75.8

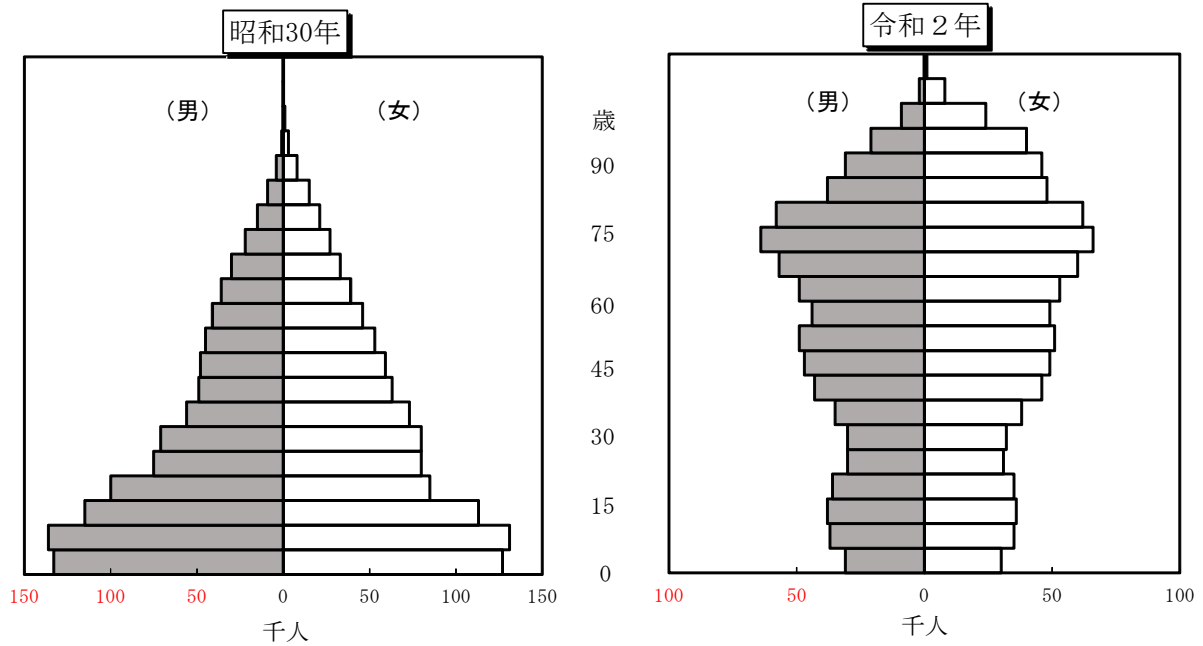
資料：総人口は、毎年10月1日現在で、昭和30、35、40、45、50、55、60、平成2、7、12、17、22、27、令和2年は国勢調査確報結果による。また、中間年のうち、昭和47年及び平成8年以降は県毎月推計人口による。

- (注) 1 「自然動態」は前年10月1日から当該年9月30日までの合計値。ただし、平成7年以前は日本人のみの数値。
2 「社会動態ほか」は、「純増減」から「自然動態」を差し引いたもので、「社会動態」のほか「補正人口」及び平成7年以前は「外国人の自然動態・社会動態」も含まれている。



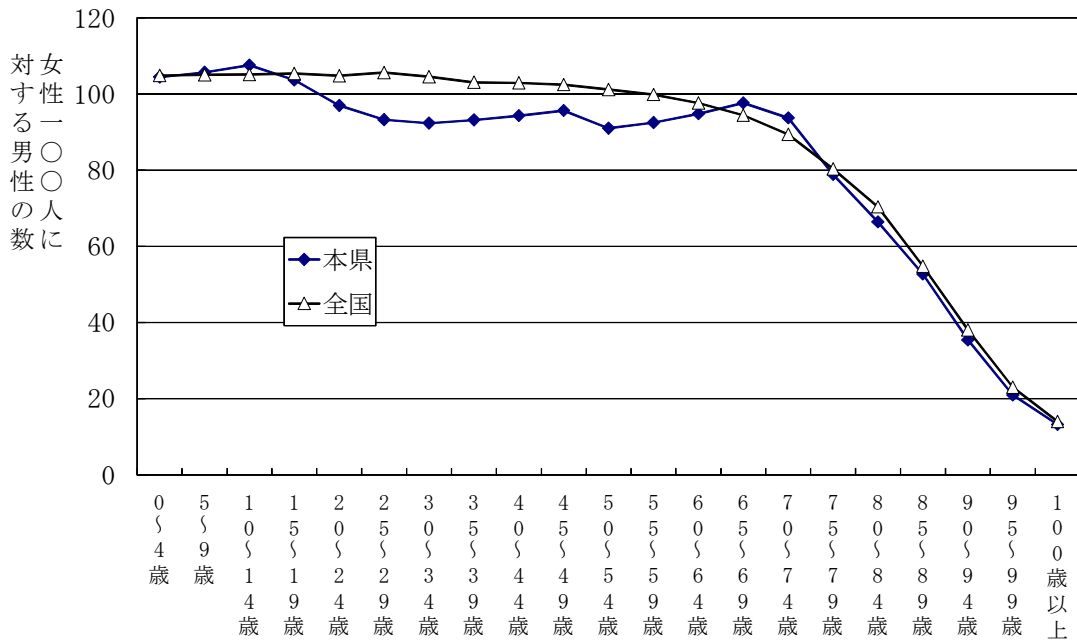
(2) 年齢（5歳階級）別・男女別の人口

① 年齢（5歳階級）別・男女別の人口の推移



資料：総務省「国勢調査」（令和2年は不詳補完値による。）

② 年齢（5歳階級）別人口性比（令和2年）



資料：総務省「国勢調査」（不詳補完値による。）

(3) 少子高齢化の状況

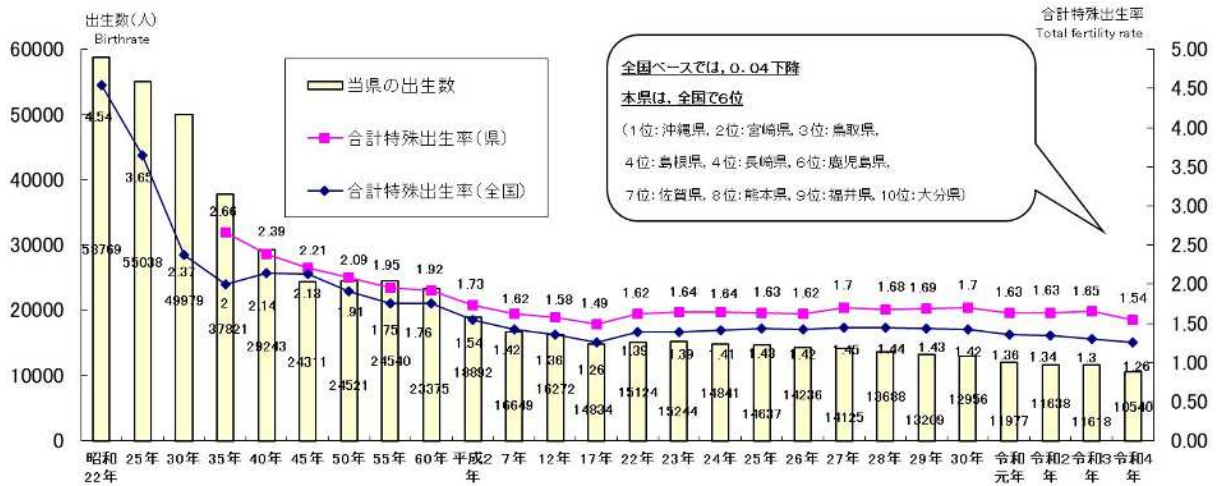
① 出生率の状況

本県の合計特殊出生率は、全国平均よりやや高い水準が保たれており、令和4年は1.54（全国は1.26）となっている。

	全国		鹿児島県	
	令和3年	令和4年	令和3年	令和4年
合計特殊出生率	1.30	1.26 (▲0.04)	1.65	1.54 (▲0.11)
出生数	811,622人	770,759人 (▲40,863人)	11,618人	10,540人 (▲1,078人)

※都道府県別の合計特殊出生率

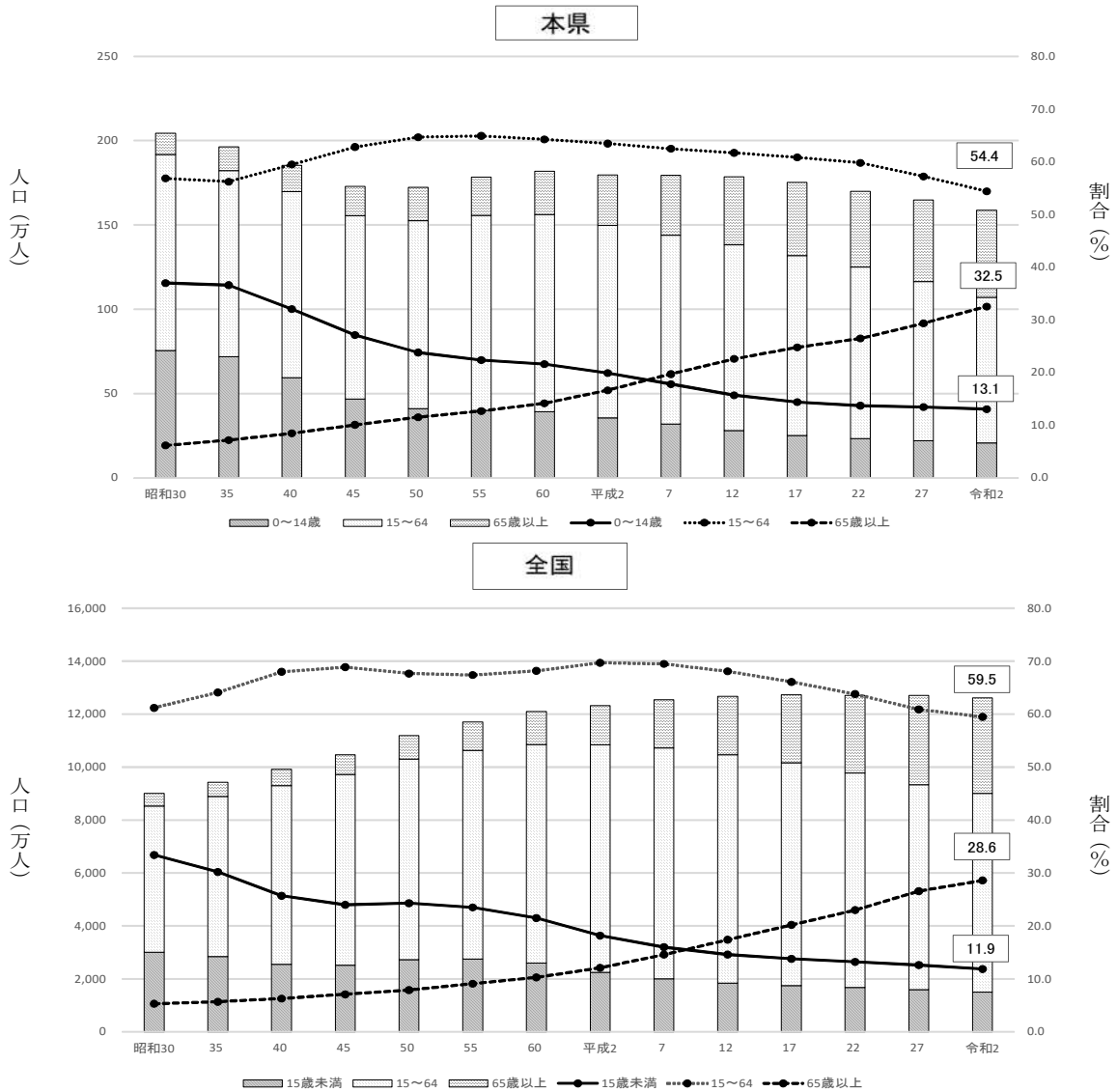
令和4年 ①沖縄県(1.70) ②宮崎県(1.63) ③鳥取県(1.60) ④島根県(1.57) ④長崎県(1.57)
⑥鹿児島県(1.54) ⑦佐賀県(1.53) ⑧熊本県(1.52) ⑨福井県(1.50) ⑩大分県(1.49)



資料：厚生労働省「人口動態統計」
総務省「国勢調査」

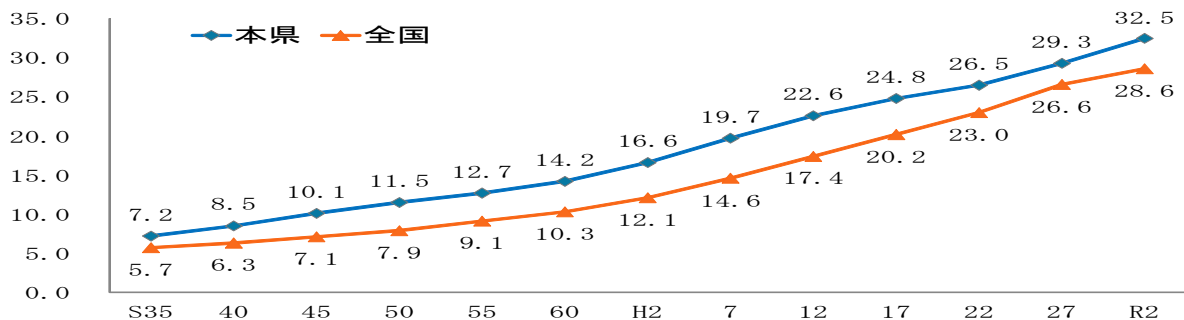
②-1 年齢3区分別人口の推移

長年にわたる若年人口の県外への流出の影響などにより、65歳以上人口の構成比（高齢化率）は、令和2年には32.5%まで上昇し、全国の28.6%よりも3.9ポイント高い。



資料：総務省「国勢調査」（平成27年及び令和2年は不詳補完値により、平成22年以前は、分母から不詳を除いて算出。）

②-2 65歳以上人口の推移（再掲）



資料：総務省「国勢調査」（平成27年及び令和2年は不詳補完値により、平成22年以前は分母から不詳を除いて算出。）

③ 未婚化・晩婚化の状況

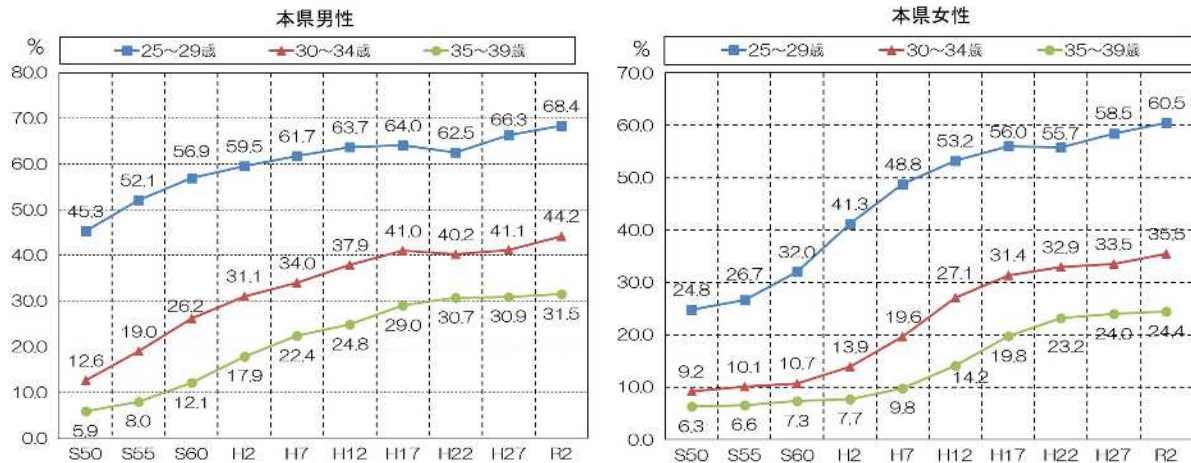
本県における2022(令和4)年の平均初婚年齢は、男性30.5歳、女性29.4歳となっており、42年間で男性が3.0歳、女性が4.2歳ずつ上昇し、全国的な傾向と同様に晩婚化が進むとともに、生涯未婚率も上昇している。

(1) 令和4年人口動態統計(令和4年確定数)

		1980(昭和55)年	2010(平成22)年	2020(令和2)年	2022(令和4)年
全国	婚姻件数	774,702組	700,214組	525,507組	504,930組
	婚姻率(人口千対)	6.7	5.5	4.3	4.1
鹿児島県	婚姻件数	11,539組	8,682組	6,131組	5,619組
	婚姻率(人口千対)	6.5	5.1	3.9	3.6

資料：人口動態統計

(2) 鹿児島県の年齢別未婚率の推移(25歳～39歳)



資料：国勢調査

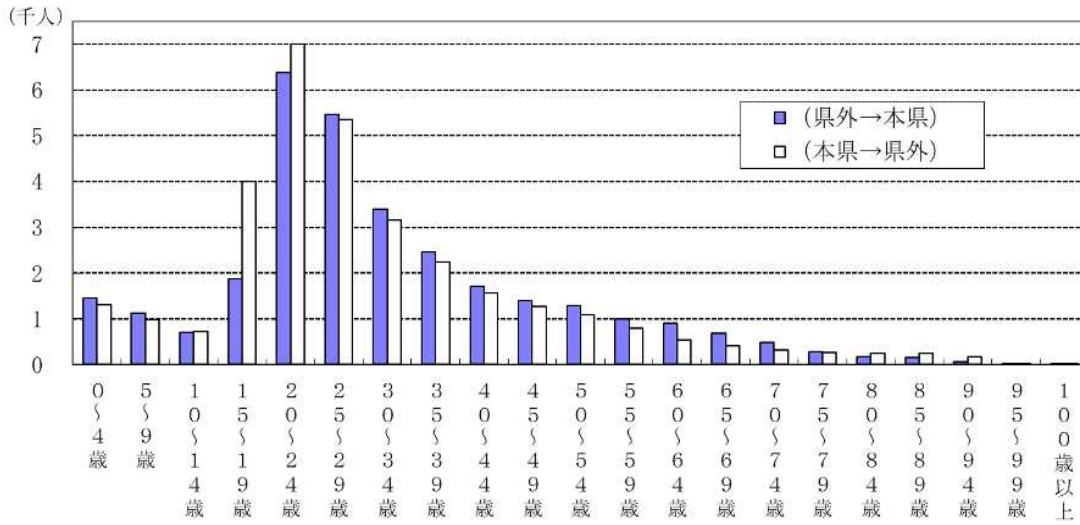
(3) 未婚化・晩婚化・晩産化に関する統計データ

			1980(昭和55)年	2015(平成27)年	2020(令和2)年	2022(令和4)年
生涯未婚率	全国	男性	2.6%	24.8%	28.3%	
		女性	4.5%	14.9%	17.8%	
	本県	男性	2.8%	23.4%	25.0%	
		女性	5.3%	15.3%	18.6%	
平均初婚年齢	全国	男性	27.8歳	31.1歳	31.0歳	31.1歳
		女性	25.2歳	29.4歳	29.4歳	29.7歳
	本県	男性	27.5歳	30.4歳	30.5歳	30.5歳
		女性	25.2歳	29.0歳	29.3歳	29.4歳
出生時の母の年齢	全国	第1子	26.4歳	30.7歳	30.7歳	30.9歳
		第2子	28.7歳	32.5歳	32.8歳	
		第3子	30.6歳	33.5歳	33.9歳	
	本県	第1子		29.7歳	30.2歳	
		第2子		31.7歳	32.2歳	
		第3子		33.0歳	33.6歳	

(注) 資料：国勢調査，人口動態統計，人口統計資料集2022年度版

(4) 転入転出者の状況

① 本県の年齢別転入転出者数 (R4. 10. 1~R5. 9. 30)



資料：総合政策部「鹿児島県人口移動調査」

② 本県の都道府県別転入転出者状況 (上位10都道府県) (R4. 10. 1~R5. 9. 30)

(単位：人)

順位	転入		転出	
	都道府県	人数	都道府県	人数
1位	福岡県	4,632	福岡県	5,781
2位	宮崎県	2,676	東京都	3,396
3位	東京都	2,618	宮崎県	2,738
4位	熊本県	2,331	熊本県	2,413
5位	大阪府	1,691	大阪府	1,753
6位	神奈川県	1,478	神奈川県	1,654
7位	愛知県	1,093	愛知県	1,144
8位	沖縄県	978	長崎県	965
9位	長崎県	878	千葉県	949
10位	千葉県	865	埼玉県	873
合計	—	31,038	—	31,730

資料：総合政策部「鹿児島県人口移動調査」

③九州各県の地域別転出状況

本県は、東京圏への移動が比較的多く、福岡県への移動はそれに次ぐ多さである。

(単位：%)

区 分	東京圏	名古屋圏	大阪圏	福岡県
鹿児島県	23.7	4.9	11.0	20.0
福岡県	29.4	4.8	11.8	—
佐賀県	15.1	3.2	6.5	43.8
長崎県	19.7	3.9	8.4	31.8
熊本県	21.9	4.3	8.7	28.3
大分県	18.6	3.2	8.7	33.8
宮崎県	21.9	4.3	9.1	20.3
沖縄県	38.9	7.0	12.6	10.6

資料：総務省「住民基本台帳人口移動報告 R5.1～R5.12（統計局公表）」

東京圏……東京都，神奈川県，埼玉県，千葉県

名古屋圏……愛知県，岐阜県，三重県

大阪圏……大阪府，兵庫県，京都府，奈良県